

2018年度 認知神経リハビリテーション・ベーシックコース（東京・プログラム）

1日目 2018年4月21日（土）

[リハビリテーション脳科学]

- 09:20- 認知の樹（映像）
- 09:30-10:30（60） 講義1）行為と認知のニューロサイエンス（池田）
- ① 脳の知覚運動制御メカニズム
 - ② 運動意図（予測）と運動イメージ
 - ③ 運動学習モデル（スキーマ理論、比較学習）、身体意識、行為の多感覚統合
- 10:40-11:40（60） 講義2）片麻痺の機能回復神経学（restorative neurology）（川見）
- ① 痙性麻痺と錐体路
 - ② 機能解離と半球間抑制
 - ③ 片麻痺の機能回復とリハビリテーション治療

[認知神経リハビリテーション入門]

- 11:50-12:40（50） 講義3）認知神経理論（宮本）
- ① 身体と環境の相互作用
 - ② 回復を認知過程の活性化による病的状態からの学習プロセスとみなす
 - ③ 身体の変容性（知覚の精密化）、可変性（運動の細分化）、適応性（連動性）による行為の創発
- 13:40-15:10（90） 演習1）病態分析と病態解釈（金森）
- ① 脳画像検査や手術所見などから得られる情報から数量化、視覚化可能な検査チャートによる評価まで
 - ② 外部観察・・・姿勢と動作の特徴（自発的・規定動作）、神経学的病理、特異的な運動の異常要素、行為システム
 - ③ 内部観察・・・認知過程の変質、意識経験の変質、観察のためのプロフィール、一人称言語記述、意識の志向性
- 15:30-16:20（50） 講義4）行為の機能システムと情報メカニズム（宮本）
- ① 身体を情報の受容表面と捉える
 - ② 行為・機能・情報のヒエラルキー
 - ③ 行為の機能システムの回復のための情報の構築
- 16:30-17:20（50） 講義5）道具と訓練（中里）
- ① 道具の名称
 - ② 物理的道具と心理的道具
 - ③ ツールとしての訓練器具・運動イメージ・言語・他者観察
- 17:30-18:20（50） 演習2）認知問題と訓練の組織化（中里）
- ① 身体部位、訓練段階、感覚モダリティ 認知問題
 - ② 空間問題と接触問題
 - ③ テーマ（身体部位）、内容・方法・検証

2 日目 2018 年 4 月 22 日 (日)

[認知神経リハビリテーションの実際]

09:20-12:50 (210) 演習 3) 行為の機能システムと認知神経リハビリテーション

- ① 行為システムと訓練器具の関係
- ② 難易度の調整
- ③ 基本的手続きと実技

[I] 上肢の機能システムと訓練の実際 (中里・米谷)

[II] 体幹の機能システムと訓練の実際 (宮本・森山)

[III] 下肢の機能システムと訓練の実際 (川見・西村)

[脳のなかの訓練室]

13:40-14:30 (50) 講義 6) 右半球損傷の病態解釈と回復の探求 ～半側空間無視 (山手)

- ① 「行為のスペース・インテグレーション(空間統合)」としてみた右半球障害の特徴
- ② 半側空間無視の病態 (注意障害、身体空間・身体周辺空間・身体外空間)
- ③ 半側空間無視の治療 (身体の正中線、体性感覚空間への注意、行為の多感覚統合)

14:40-15:30 (50) 講義 7) 左半球損傷の病態解釈と回復の探求 ～失行症 (三上)

- ① 「行為のトランスフォーメーション(変換)」としてみた左半球障害の特徴
- ② 失行症の病態 (肢節運動失行・観念運動失行・観念失行)
- ③ 失行症の治療 (動作的・映像的・言語的表象の同種・異種感覚情報変換、道具使用)

[身体化された認知]

15:40-16:30 (50) 講義 8) 身体化された認知 (embodied cognition) の回復を目指して (宮本)

- ① リハビリテーション身体論 ～フッサール、メルロ・ポンティ、ギブソン、ギャラガー、エーデルマン、ヴァレラ…
- ② 身体・物語・人生とロマンティック・サイエンス ～ルリア、サックス、ペルフェッティ…
- ③ 行為の記憶と想起された現在 ～認知運動療法から行為間比較への旅…

認知の樹(映像)

終了